Seiyo Assembly

西予 議会だより



特集

小さな町の大きな秘話　明浜 ⑭
動き始めた学校再編（定例会） ②
補正予算どうなの？ ④
視察報告・各常任委員会 ⑤
一般質問 ⑧
議会のニューフェイス ⑯
市民の放課後 ⑰

第18号
9月
定例会
2008

2008.10.20発行

南予市議会親善ソフトボール大会（野村）



西予議会だより　第18号　http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai.htm

E-mail gikai-chousa@city.seiyo.ehime.jp

西予市の風景



沖から見た寝観音（三瓶町須崎）

わが町の取って置きのスポット



修復された笠置古墳

思い出のアルバム

野村町横林地区

河成小学校は、昭和34年に鹿野川ダムの完成によって、当時2校（奈良野小学校と河成小学校が統合）が再編して現在の小学校になりました。

当時は木造校舎でしたが、その後現在のコンクリート校舎に建て変わりました。大変無理な造成がなされています。



現在の河成小学校



昭和３０頃敷地造成中の写真

編集委員の眼

子供たちの笑顔を失わないために…

西予市では保育園民営化の設置検討委員会を立ち上げ、これからのあり方を検討しています。

『民でできることは民で』という考えもありますが、民営化にあたって大切なことは、子供たちや保護者が、変わらず安心して通える環境を提供していくことが重要です。

そんな中、保育園の運動会に行ってきました。子供たちの透き通った笑顔はこの上なく、最高でした。また、周りにはそれを取り囲むかのように、保護者のカメラ隊。これも時代の流れですね。

これから、市民と行政がもっと協議をしてこの民営化問題に取り組んでいかなければならないと感じています。







編集後記

表紙を飾った写真は、10月4日に野村球場で行われた、南予市議会親善ソフトボール大会です。結果は、一回戦で昨年の覇者宇和島市議会に善戦しましたが、10－16で敗れ、3位決定戦で、大洲市議会に20－4で勝利し、3位となりました。

初の地元開催だっただけに、何とか優勝をと意気込んでいたのですが…。

また、今回の『議会だより』では、なるべく字数を減らして読者に読み易いようにということをテーマに、編集しました。

今後共、編集委員会も鋭意努力していきます。

編集委員

◎委員長　浅野　忠昭
○副委員長　兵頭　学
委員　元親　孝志
委員　宇都宮明宏
委員　松山　清
委員　明智　祥勝
委員　二宮　一朗
委員　兵頭　竜

発行／西予市議会　編集／議会だより編集委員会　発行責任者／梅川光俊　〒797-0015 西予市宇和町卯之町三丁目434-1　TEL0894-62-6413

動き始めた 学校再編計画



9月17日から10日間の会期で、第3回定例会が開催されました。今回の定例会の主な議案は、条例制定1件、改正7件、規約の変更2件、辺地に係る総合整備計画の策定1件、予算関係では一般会計、特別会計、企業会計等11件の補正予算、平成19年度一般会計及び特別会計・公営企業会計の14会計の決算認定、平成19年度の健全化判断比率・資金不足比率の報告2件、第三セクターの平成19年度の経営状況報告11件の49件を審議いたしました。



西予市がＪＡ東宇和を取得

総額11億7千147万円補正

一般会計は、9月補正で11億7千147万5千円を追加し、総額で244億2千290万7千円となりました。

ＪＡ東宇和取得

駅前開発事業
1億7千万円
ＪＲ卯之町駅前の乱開発の防止と将来を見越した駅前整備計画並びに新庁舎建設工事期間中の仮事務所として活用し経費削減を図る目的で東宇和農業協同組合本所の土地と建物を購入する経費

皆江グランド新設

体育施設費
1億450万9千円
特老建設に伴い三瓶南グラウンドの代替えとして整備に係る土地購入費と工事請負費

れた学校施設について、平成17年度に実施した耐震化優先度調査に基づき耐震診断を行う経費

西予市で旅券発行

旅券事業
7万円
平成20年10月6日より、本庁にてパスポートの申請・受取りが可能になります。その準備に伴う経費

学校施設耐震化調査始まる

学校施設耐震化事業
2千363万円
昭和56年以前に建築された



パスポート窓口

19年度会計決算の認定

一般会計246億1千362万2千円、**特別会計**207億2千997万8千円、**企業会計**43億2千366万8千円の合計496億6千746万8千円の決算の認定をしました。

付託を受けた平成19年度一般会計・特別会計・企業会計について、各常任委員会で所管事項の決算審査にあたり、各担当部長より主要施策及び成果について総括意見を求め、計数の正確性、予算の執行状況の適否また遺漏がないかなど詳細にわたり審査を行いました。審査の結果すべて認定致しました。審査の結果すべて認定致しました。

決算認定　監査委員の眼

19年度の決算において、普通会計における**公債費負担比率**は21.7％（20％を超えると危険ライン）、**経常収支比率**は90.9％（70％～80％が妥当）とそれぞれ高比率となっている。このことは既に財政構造の硬直化を示しており、行政内容の変化に対応しにくい状況にあるといえ、予算編成にあたっては、十分審議して慎重に対処すべきである。

差し迫った課題として、収入未済額いわゆる滞納額等の問題があるが、収入未済額は一般会計で1億8千839万円と特別会計2億4千274万円が生じている。公平性確保の観点から、悪質滞納者に対する法的処置を講じるなど、関係職員は増加する未収金対策と収納率向上に向け一層積極的に取り組むべきである。

監査委員　松山　清

どうなる小学校再編化計画

小学校の統廃合に関する校区別説明会が、西予市内全域一通り完了しました。今後教育委員会では、これまでに出てきたそれぞれの地区の意見を集約して、年明けより再度校区別説明会を実施する計画です。

どこの会場も意外と出席者が少なく、ほとんどの地区が、全体の１割以下でした。

教育委員会の説明では、統廃合の本当の理由が、十分説明されていないように感じました。複式学級を解消するための、適正規模の学校・学級を目指していきたいということでしたが、果たしてそれだけの理由だとは思えません。

統合が決まったところから検討していきたいという説明では、住民側からすれば、『から手形に判は押せません』という、対立が生まれたように感じました。子供たちにとっては、大きな環境変化であるだけに、理念なき統廃合にならないよう、慎重に対応していただきたいと思います。

議会日程

9月

17	水	本会議（開会）
18	木	一般質問・質議
19	金	常任委員会
20	土	休会
21	日	⇦
22	月	常任委員会
23	火	休会
24	水	常任委員会
25	木	休会
26	金	本会議（閉会）

補正予算



異議・意義

中小企業振興資金融資条例

問 融資対象が売り上げの5％減以上になっている。今の不況は、原材料の高騰によるものであり、実態に即していないがその基準は。

答 判定基準については委員会で検討します。

問 融資額は2倍になっているが、総枠は4割しか増えていない。利用できる件数が減るのではないか。

答 現在すべての枠を利用されているわけではないので、十分効果は期待できます。

新庁舎建設総事業費話が違う

問 事業費の総額が、当初の21億円から26億円に膨れ上がっている。それほど大きな庁舎は要らないのではないか。

答 当初から本体工事は21億円と説明いたしております。原油高騰による資材の値上がりもあり、本体工事で23億円、付帯工事（農協購入、外周工事等）3億円となっています。

学校耐震計画は今後どうなるのか

問 学校施設耐震診断は、再編計画を見ながら実施すべきではないのか。

答 再編計画の結論が出ていないが、限られた財源の中で、計画的に行なっていきます。

問 2カ年で実施する耐震計画の順序は。

答 平成17年度に実施した、優先度調査に基づいて、今年度は優先度1から3の内15校28棟、来年度それ以外の18校18棟を計画しています。

溝蓋の盗難対策どうする

問 農林道の、溝蓋の盗難が相次いでいる。盗難に対する、今後の対応はどうなるのか。

答 今後は盗難にあわないよう、ボルト締めで固定してまいります。



耐震度調査が必要な小学校（皆田）

国民健康保険会計これで大丈夫か

問 国保会計財政調整基金が、前年度、今年度と取り崩して収支を併せているが、現在の基金の残高はいくらあるのか。

答 基金残高は2億5千8百万円です。

問 保険税だけで運営するとしたら、保険料はいくら引き上げなければならないのか。またその時期はいつなのか。

答 単純にはいかないが、一世帯当り約1万4千円程度の負担増になります。時期的には来年度から必要になります。

問 滞納額が1億4千万円強になっている徴収方法はどうするのか。

答 悪質なものに対しては、県の滞納整理機構にお願いして、徴収する方法を検討します。低所得者については、分割での支払いを検討してまいります。

学校再編の地元説明会始まる

総務常任委員会

委員会審査

宇和町内の郵便集配事業の進捗状況

郵便集配事業計画については、本社で承認される見込みで、コスト面については今後協議していきます。

郵便局舎の将来の利用方法

現段階では企業誘致の考えで進めており、事務所の利用方法やセキュリティー面は今後の状況で検討していきます。

CATVの光ケーブルの維持管理費

IRU契約の仕方により、後年度の持ち出しが増加するので、研究し経費が少なく済むよう対応します。



宇和郵便局

学校再編に住民の声を

地元説明会は、意見・要望を聞く会であり、それらを集約し取り入れていきます。



学校再編説明会（大和田地区）

保護者と子供たちの説明会の開催は

教育委員長を交えて委員会で検討します。

視察研修

7月14日から3日間、総務省・高山市・岐阜市で視察調査研究を行いました。

「過疎地域と全国の格差」

	過疎地域	全　国
高齢化率	30.2％	20.1％
農業所得（10ａ当）（北海道を除く）	61,000円	81,000円
医師数（1万人当）	13.75人	20.09人

（総務省）

■過疎法の必要性

過疎法の動向では、西予市は次期も過疎地域となることが推計されるが、過疎法がなくなれば今まで以上に都市と地方の格差が拡大するのは目に見えています。

国・県に過疎法の必要性を訴えていくことの重要性を痛感しました。

■限界集落対策のあり方は（高山市）

地域振興特別予算という形で地方交付税の合併での特例の1/2を財源とし旧市町村に均等割20％人口割40％基準財政需要額割40％で配分し特色ある事業を実施。

限界集落対策は、集落実態調査を行い、それを基に社会活動支援制度や移住促進事業補助金を創設、また、スクールバスの空き席に登録制で乗車証を交付して人口減少に歯止めをかける取り組みが行われていました。

■学校再編を学ぶ（岐阜市）

地元説明並びに意見交換会を開催していく中で、学校基本計画部会やPTA部会をはじめとする11部会を立ち上げて、学校運営・学校建築・校章・校歌などの個別課題について、学校・PTA・地域・行政が一体となって取り組む活動を推進し統合小学校を目指したとのことでした。



総務省

愛媛県トップの国保収納率!!

厚生常任委員会

補正予算

寿楽園購入車の内訳は

7～8人乗り程度で、車いすで乗降できる車を購入するための費用で、指定管理者の場合の負担率は内規により、総額から30万円差し引いた額の、7割が市負担・3割が指定管理者の負担です。

病院群輪番制事業とは

平成20年度から西予市が3市2町(大洲・八幡浜・西予・内子・伊方)の二次救急医療体制の事務局となり、それに対しての補助金。

決算認定

野村町浄香苑の火葬炉の改修計画

現在、老朽化によるトラブルもあり、また、棺の大型化に対応できていないため、平成22年度に全面改修を検討中です。



大型の棺に対応できない浄香苑の火葬炉

各種バスの統一化を

市民にとって不公平感があり、一本化について企画調整課と連携を図り、交通会議を進める努力をしていきたい。

国民健康保険税滞納者の現況は

収納率は96.2%で愛媛県においてトップであるが、滞納者を減少していけるよう努力したい。

視察研修

水道料金の平準化を

非常に難しい問題であるが、国の指導による『地域水道ビジョン』『簡易水道事業統合計画書』を平成21年度までに作成し、検討していきます。

高利率の企業債を繰上償還すべきでは

繰上償還の対象条件を満たすものは申請していく方針です。

7月17日～19日の3日間、青森県の十和田市立中央病院とむつ衛生センターを視察しました。

十和田中央病院では『**十和田から新しい医療の姿を発信する**』という院長の考えのもと、様々な地域医療に対する取組みが行われていました。

◆特長

①がん医療の充実
②電子カルテの導入
③積極的な内部改革
④免震構造の採用

◆医師確保

東北・弘前大学と連携を図りながら、『医師が来たくなるような病院づくり』を目指し様々な角度から画策していました。

西予市においても市民の意見を聞きながら、行政・医療部門・事務部門が連携して色々な問題に対して、取り組んでいかなければならないと痛感しました。

むつ衛生センター(汚泥再生処理施設)では**膜分離高負荷脱窒素方式**を導入し、処理水は高度処理してむつ湾に放流。汚泥は隣接する一般廃棄物処理施設アックスグリーンに搬入される古紙と混合し、助燃材に加工。それをアックスグリーンで焼却し、その熱で発電していました。そのため敷地内で全てを処理することができ効率化が図られていました。



十和田中央病院玄関前



むつ衛生センター

西予市のし尿処理場の今後の方向性として、廃棄物処理場や広域事務組合の問題、最先端のし尿処理技術の調査などとリンクしながら総合的に考えて、維持管理が合理的かつ経済的にできるものを目指すべきだと感じました。

中小企業振興費融資枠14倍に

産業建設委員会

条例改正

「西予市中小企業振興資金融資条例の一部を改正する条例制定」

これまでは、市の預託金に対して、10倍の融資を行っておりましたが、燃料・資材等の高騰で、経営が厳しくなってきていることから、14倍に変更するものです。現在の融資可能枠は、3億136万7千円です。



多田地区の生姜ハウス

補正予算

JA東宇和に施設園芸補助

JA東宇和が事業主体となって、宇和町多田地区で事業を進めている生姜(しょう)ハウス・イチゴハウス・生姜洗浄施設等に、今年度2千466万1千円を補助するものです。総事業費2億5千万円程度で、平成21年度完成の予定です。

決算認定

成果報告書厳しい評価を

各担当課の事業評価は、単に結果の報告でなく、費用対効果の視線で、メリハリをつけるべきである。

下水道事業積立金必要では

将来施設が老朽化したり、地震等による大幅な修繕が必要になった場合、当初のように国・県の補助は無く、市の単独事業となることが想定される。そのことを念頭において、積立金等を検討しておく必要は無いのか。

公共下水道事業加入率が低い

野村処理区・宇和処理区において、依然として加入率が低い。今後さらに高齢化が進むことを考えれば、事業そのものの見直しが必要になってくるのではないか。加入率アップに向けて、更なる鋭意努力を求める。

所管調査

城川総合支所所管事務事業の調査を実施しました。基幹産業である1次産業は、ますます厳しい現状にあり、後継者対策・所得対策等、思い切った政策が必要です。

また合併によって施設の利用度の低下が目に付きます。小学校の統廃合も含めて、公共施設の再利用計画が必要です。

(株)城川開発公社は連結決算で黒字を計上しています。経営理念・経営努力はしっかりしているが、過疎による人口減少が経営の足を引っ張っています。西予市全体で再検討が必要です。



城川町所管事務事項調査

視察研修

委員会の視察研修目的は『立ち上がる農山漁村』をテーマに行いました。

過疎高齢化が進む西予市において、どうすれば元気で活力のあるまちづくりができるのか、栃木県那須野ヶ原と群馬県新治村の先進地視察を行ないました。まちは創意工夫でもって、何とかなることを学んで帰りました。



新治村での研修

一般質問



東奔西走!!





問題解決のため

一般質問



元親　孝志 議員

問 西予市の行政評価の適用範囲は、施策基本事業の評価までとなっている。これでは不十分だと思うが考えを伺いたい。

総務部長 試行段階として、特定の事務事業評価のみを公開したため誤解を招いています。今後は、施策評価結果については『西予市まちづくり報告書』で報告してまいります。

パブリックコメント制度とは何か

問 市が計画を進めている新庁舎建設事業に対しては、建設に対する疑問の声が未だに多くある。この事業こそパブリックコメントを受入れ、政策決定の判断材料とすべきであったと思うが、政策決定の過程で、パブリックコメントの対象とされていないのはどういう理由か伺いたい。

総務部長 パブリックコメント制度の活用について、タイミングがずれていたことに対しては職員に周知徹底を行い、政策立案において有効な制度となるように、鋭意努力をしてまいりたい。

マニフェストチェックどの段階で

問 市長のマニフェストを実行すれば、当然莫大な事業費が必要となる。これらの事業に対して、行政評価システムはどの段階でどの様に機能するのか伺いたい。

総務部長 マニフェストは、選挙によって市民の信頼を得ており、実施することを前提に事前評価を行ないます。そこで主に有効性、効率性を高めるための事業方法について議論することとなります。



どうする小学校再編計画

行政評価は施策・政策の評価を評価結果はまちづくり報告書で

生産高1割アップ実現可能か

問 マニフェストの中に、1次産業の生産高を1割アップするとあるが、考えを伺いたい。

市長 私の提言は、西予市の危機感を市民に共有していただき、奮起を促すために、あえて高い目標値としました。

小学校真の適正規模とは

問 市長にとって、真の適正規模の学級・学年・学校とは一体どういう規模を考えているのか伺いたい。

市長 『西予市学校再編について』の答申の内容を尊重しながら、市民の声を踏まえて、市長と教育委員会で、結論を出したい。今、市長案として示すのは、いたずらに混乱を招く恐れがあるので差し控えさせていただきます。



森川　一義議員

問 南予地域では景気回復は非常に厳しいものがあり、率先して経費削減に取り組むべきだ。他の自治体の見本となるよう理事者の報酬一割引き下げは検討できないか。

市長 合併当初の特別職の給料及び市議会議員の報酬を旧大洲市の報酬を基準として5％減と設定し、さらに3％減としているので、県下の市では一番低い報酬です。

今後は、財政状況や社会・経済情勢、近隣市町の動向等に配慮して、総合的に判断していきたい。

理事者の報酬引き下げを

近隣市町の動向等配慮

水道加入金と工事負担金の不公平感は

問 西予市の各町水道の新規加入金の違いはなぜあるのか。また、工事負担金は宇和町だけ13万円となっている理由は。

公営企業部長 合併協定書による水道事業の取扱いは、「当面現行のとおりとする」となっています。宇和上水道事業では、水源確保及び浄水・配水施設の計画的な整備が必要であり、加入金とともに一律的に負担をして頂いています。

今後は、水道料金や加入金・工事負担金についても平準化・格差是正を早期に実現したい。

野菜工場中止どうする？

問 宇和町山田の野菜工場計画が中止になったが、この工場建築のために市役所の多くの人件費や埋蔵文化財発掘の経費等が使われた。埋立地等今後どうなるのか。市としての地権者への責任はないのか。

産建部長 エリアレボリューションズの経営問題から、契約済みの土地売買代金の支払いが履行されていません。本年4月、一部未払い金を残したままエリアレボリューションズの経営が行き詰まりが表面化し、事業計画の白紙撤回の方針が先方から示されました。

本件は買主による一方的な契約不履行ですので、地元が提示した損害補償条件により、農地に復旧することになりました。



復旧が進む建設予定地（山田）

Q 営農組織の活動状況は 地域リーダーが中心 A



明智　祥勝 議員

問 市の基本計画の中に、農地と基幹産業を守る重要な役割をもち、体制の整備が急務であるとされている。市内の各町毎の集落営農組織の数及び活動状況について伺いたい。

産建部長 西予市では57組織が活動しており、組織形態では、特定農業法人等5組織、その他任意組織の農業機械の共同利用農作業受託組織が52組織であります。各町別では、明浜地区が農業法人1組織で、柑橘農家の農作業受託が主な活動となっております。宇和地区では、特定農業法人が2、特定農業団体が2組織あり、米・麦・大豆の生産と基幹作業受託を通じた地域農業の担い手としての活動を行っています。又、その他米を主体とした機械共同利用農作業受託組織22を合わせて26組織です。野村・城川地域では、ほとんどが米を主体とした農作業受託活動であり、野村19、城川11組織となっており、地域リーダーが中心となって農業を支えているのが現状です。

体制整備は

問 農協等の関係機関との人的体制整備をどのように考えているのか伺いたい。

産建部長 今後の新たな組織設立の推進については、引き続き農業支援センターを中心に、各地域の支部支援センター、関係機関及び関係団体と更に連携をはかり、地域の特徴を生かした、小規模農家も参加でき、又、地域農業を支える組織育成の指導及び推進、持続可能な体制整備を図って参ります。



農機具の共同購入（コンバイン）

組織支援の見込みは

問 新たな組織設立には大型農業機械等の導入が必要になると思われるが、国・県の事業導入、あるいは市単独の助成措置等組織支援が見込まれるのか伺いたい。

産建部長 新たな組織設立における支援では、地域の要請に応じ、経営規模に対応した効率化に必要な大型農業機械の整備が必要であり、各種、国・県の補助事業を導入し、組織の支援をして行く考えであります。

Q 農業の支援対策は 協議会を設立して検討 A



大竹　忠盛 議員

問 原油、配合飼料等の異常な価格高騰による経営悪化、農家ニーズに合致した更なる支援策をどうするのか。

市長 市独自で、粗飼料への緊急支援事業で対策を講じているが、更に餌の自給率向上をめざし、関係機関で「協議会」を設立し、粗飼料自給率向上のため稲藁収集の取組みについて検討を重ねてまいります。

耕種・畜産農家の連携強化を

問 肥料、農業用資材等の急激な値上げは、耕種、果樹、施設園芸を含む全ての生産農家の生産意欲減少や経営悪化を招く、「耕・畜連携」に向けて、ハードソフト両面からの積極的支援を検討してはどうか。

市長 ハード面では「強い農業づくり交付金事業」等の導入を働きかけ、機械導入の支援も必要で、「飼料の地産地消」の仕組みづくりを推進してまいりたい。

西予市独自のブランドを

問 ブランド品目づくりは、農林水産業の活性化にも結びつく。食の安心、安全が求められている今日、独自のブランド品を認定し、一次産業の活性化をめざすべきでは。

市長 国の支援も受け「西予市有機農業推進協議会」を立ち上げ、より安全安心の農産物生産に向けての活動を展開しています。今後、有機農業推進協議会の活発な展開やCATV等も活用し、地域情報を盛り込んだ農産物の販売戦略をJA、県等と連携しながら「ブランド品」開発を進めて行きたいと考えています。

都市計画マスタープランの現状は

問 10年後を展望した都市計画づくりは急務であり、より具体的な計画とその方向を示すべきだ。特に、都市計画の根幹をなす道路網の検討を急ぐべきではないか。

産建部長 西予宇和インター周辺の整備の方向性については、土地利用方針に基づいて、用途を適正に配分し機能的な都市活動の確保と良好な都市環境へ誘導する必要があります。21年度から宇和都市計画区域（明石、伊賀上、上・下松葉地区）において、用途区域の拡大の検討や見直しを行い、都市機能の整備充実を図る計画です。



収穫後の水田風景

Q 若者定住促進対策 取り組みは 総合的に鋭意努力していく A



兵頭　竜 議員

問 若者の定住対策は重点的に取り組むべき施策となっているが、現在、市での取り組みの状況はどうなっているのか。

市長 明浜地区での農漁業後継者住宅建設事業で、6棟の住宅建設や、3才児から就学前の幼児に対する通院分の医療費を無料化し、保護者の負担軽減につなげていくなど、若者定住促進は、総合的な取り組みとして今後とも鋭意努力していきます。

問 企業誘致に関する取り組みと合併後の実績は。

市長 『愛媛県地域活性化協議会』の事業を利用して、事業所の移転意向や西予市の関心度等をアンケートの形で調査し、そのデーターを活用して、愛媛県と協力しながら企業誘致活動を行う考えです。

合併後の実績は、5社の新規立地又は増設があり、市民60名程度の雇用が創出されました。

ふるさと納税制度の取り組みは

問 『ふるさと納税制度』は、大いにアピールしていくべきだと考えるが、西予市をふるさとに持つ方にこの制度をどうアピールしているのか。また、寄付をしていただいた方に使途を提案してもらう『提案型ふるさと納税』はどうだろうか。

総務部長 宣伝チラシの作成、ホームページ・広報への掲載、ふるさと会等での呼びかけ、愛媛東京事務所イベント等でのPRを行っています。

使途については、あくまでも一般寄付であるため、指定寄付にならない範囲で『寄付申出書』の中で希望を尊重していきたい。

林道開設事業の地元負担率軽減を

問 地元負担率が県内平均の3%に対して、西予市では11%と非常に高い。早急に負担率を軽減する必要性があるのではないか。

産建部長 林業振興には様々な支援を行っているため、当面は地元負担金の見直しは考えていません。



芝生化が望まれる多目的グラウンド

グラウンドの芝生化を

問 現在、西予市ではサッカーなどを行う芝グラウンドがない。野村町の多目的グラウンドを芝生化してはどうか。

教育部長 グラウンドの芝生化の施工費と諸費用で約6千800万円必要となり、年間の維持管理費が約500万円かかる見込みです。今後、スポーツ立市運営委員会等の意見を参考にしながら慎重に検討していきます。



二宮　一朗 議員

Q 放課後子供プランを小規模校にも統廃合を視野に入れて検討

問 宇和・三瓶小学校区には、学童保育が開設されており、野村小学校区においても近い将来開設が予定されている。既存の施設を利用して、地域やボランティアの方たちの協力や連携で出来るような、小規模校区に適した『放課後子供プラン』を立ち上げる考えは無いのか。

教育長 学童保育に対する希望はあるが、財政事情を考えると、補助対象が前提になるため、小規模校ではかなりハードルが高いと考えます。今後学校の統廃合を加味しながら、協議を進めてまいります。



宇和町の学童保育（トトロクラブ）

教員住宅再編計画は

問 教員住宅の再編計画の、進捗状況はどうなっているのか。用途別の目途と時期について、また市営住宅への転用可能な戸数はどうなっているのか。

教育長 八幡浜教育事務所の統合により、教職員の人事異動が広範囲になることが予想されます。また小学校の統廃合も視野に入れながら、確保しておくべきか、一般へ転用すべきか、あるいは取り壊しが必要なのか、整理を行い有効活用を図ってまいります。

一般への転用は確定ではないが、11戸と考えています。内訳は、高山4戸、土居4戸、高川3戸です。

市役所の住民サービスとは

問 市役所内の各窓口が、誰にでも直ぐ分かるよう案内表示を工夫できないか。

福祉部長 現在の庁舎では、これ以上の案内板の設置は難しい。職員が積極的に声を掛け案内することで対応しています。予想される申請及び相談等が開催されるときには、目に付きやすい場所に案内表示を設置していきます。



空室が目立つ教員住宅（高山）

伊賀市議会視察報告

議会運営委員会

「市議会基本条例」を全国に先がけて作り、一歩先を行く、三重県伊賀市議会の視察研修を行いました。

市議会基本条例は、伊賀市の自治基本条例で謳われている、議会の役割と責任の具体化を目指して制定されました。制定に当たっては、「議会のあり方検討委員会」が設置され、協議を繰り返しながら、最終的に10章23条にまとめ、平成19年2月に伊賀市議会基本条例が可決されております。



伊賀市議会で研修



松山　清 議員

Q ふるさと納税の推進を地道な努力が必要

問 ふるさと納税制度がまだまだ西予市出身の方々に周知徹底できてない。ホームページでの広報はされているが、その方策は。

総務部長 この制度はスタートしたばかりなので、地道な呼びかけが必要です。PR方法はいろいろ考えられるので、良い案があれば提案いただきたい。

西予市版少子化対策できないか

問 少子化対策として、3人目以降の子供に対して、医療費や保育料・給食費の免除、出産費用の支援など西予市独自の対策はできないか。

福祉部長 厳しい財政事情を考えると、特効薬的な施策は困難な状況です。しかし、これまでの子育て支援施策の拡充・強化に努め、限られた予算の中でこれまでにない新たな支援等の可能性を検討してまいります。



来年度の新入生で賑わう運動会（宇和町小）

合併10年後の財政は

問 合併10年を経過すると、地方交付税額の算定の特例などなくなるが、財政見通しはどうか。

総務部長 平成20年度で20億円の交付税差額がありますが、これがなくなると極めて厳しい財政運営を迫られます。大型建設事業等により、10年後も約300億円を越える借入残高が予想されるため、借入金の慎重な発行や計画的な財政運営に努めたい。

人事異動と勤務評定の方針は

問 現在の人事異動の方針と基準はどうなっているのか。また、行政職といえども能力評価や実績評価は必要だが勤務評定の実施状況は。

副市長 人事異動は適材適所を基本に3年を目処に計画的に実施しています。旧五町の給与調整中であるので、終わり次第勤務評定のあり方を検討したい。

まちづくりの長期方針は

問 広大な面積を有する富山市は、「コンパクトなまちづくり」を目指す方針を立て、限界集落対策に取り組んでいる。「選択と集中」をしていかなければもう財源がない、ということだ。西予市でも、「良い条件悪い条件」を考慮してまちづくりの長期方針を市民に示していくべきだが、市長の考えは。

市長 行政評価システムを活用し、見直しの必要性や事務事業の新規展開を行う際の行政の意志決定の判断材料として、方向性に反映するよう努めていきます。

南山城村に研修

議会だより編集委員会

8月に京都府南山城村にて広報委員会研修を行いました。南山城村の議会だよりは、昨年町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞されました。村議会議長の歓迎の挨拶のあと、芝垣編集委員長から、議会だよりの編集方針について説明を受け、西予市の議会だよりも持参し指導していただき、改善点も見つかり有意義な研修になりました。

今回の研修では偶然岡山県の瀬戸内市議会の方も受けられ、交流があり十一月に瀬戸内市との研修が決まりました（自費）次回にその報告が出来ると思います。



瀬戸内市との合同研修

大きな秘話

胸の泉に

塔 和子

かかわらなければ
この愛しさを知るすべはなかった
この親しさは湧かなかった
この大らかな依存の安らいは得られなかった
この甘い思いやさびしい思いも知らなかった
人はかかわることからさまざまな思いを知る
子は親とかかわり
親は子とかかわることによって
恋も友情もかかわることから始まって
かかわったが故に起こることにも
幸や不幸を積み重ねて大きくなり
繰り返すことで磨かれ
そして人は
人の間で思いを削り思いをふくらませ
生を綴る
ああ
何億の人がいようとも
かかわらなければ路傍の人
私の胸の泉に
枯れ葉いちまいも
落としてはくれない

「未知なる知者よ」より

皇后陛下の目に叶うひとつの詩

塔和子（ペンネーム）さんは、西予市明浜町に生まれ、小学校6年生の時にハンセン病に罹られました。そして昭和18年、当時14歳で、香川県にある国立ハンセン病療養所大島青松園に強制入所させられました。

当時不治の病とされていたハンセン病は、塔さんの家族の絆さえも断ち切ってしまいました。

塔さんは32歳の時、第1詩集「はだか木」を出版。70歳で、第15詩集「記憶の川で」が、その年の最優秀詩集に贈られる、高見順賞を受賞して、詩人としての名を不動のものにされました。

美智子皇后様は、特にこの「胸の泉に」がお好きということで、ここに紹介をさせていただきました。

明浜町では、シーサイドサンパークに、市民の募金活動によって、塔さんの文学碑を建立して、地域ぐるみで人権学習に取り組んでおられます。

特集 明浜町



小さな町の





今年も大盛況でした



賑やかに開催される「かっぱ祭り」

日本で唯一の河童の狛犬

日本で唯一 河童の狛犬

明浜町・高山東の若宮神社に、世にも珍しい、河童の狛犬があります。日本で唯一ということで、風化から狛犬を守るため、今は囲いがされています。明浜町では、海の守り神として、いまでも大切に守り継がれています。8月には、明浜町かっぱ祭りが町をあげて毎年賑やかに開催されています。

戦争という悲劇に生きた青い目の人形

昭和2年、アメリカから日本に、1万2千739体の青い目の人形が、船に乗って日本にやってきました。当時アメリカでは、日本人移民への排斥運動が広がり、日系の人たちは苦難の中にありました。そこでアメリカと日本を愛するシドニー博士が、両国に友情の橋を掛けようと呼びかけ、それに賛同をした、260万人のアメリカ人の手によって作られた人形が、日本に届きました。人形にはすべて名前がつけられていて、パスポートを持っていました。青い目の人形は、全国の幼稚園や小学校に贈られ、大歓迎を受けました。しかし昭和16年の日米開戦と共に、青い目の人形は、敵国のスパイとされ、消されていきました。しかし平和を愛する人たちによって、残された人形が、全国で300体残っていました。明浜町に3体残っています。



戦禍を免れた３体の青い目の人形

明智祥勝



伝統文化を大切に

本格的な地方分権時代の到来を迎え、私達を取りまく環境は、大きな様変りを見せようとしています。この様な重要な時期に、議員として働かせて頂くことになり、責任の重さを痛感しております。

私は、7人の仲間と、地元集落の稲作の受託を行っています。高齢化が進み、「稲作り」も困難な世帯ができ、私達に出来ることがあればとの思いからスタートし、7年が経過しました。稲刈り等集中する作業は大変ですが、たまには酒を酌み交しながら集落を維持していくためにも頑張っていきたいと思います。

伝統文化の継承も後継者不足で維持がむずかしい行事が多く有りますが、先輩の指導を頂きながら念仏保存会の一員として地域の「虫送り」等に参加し、伝統を伝えていきたいと思っています。

「住んでいて良かった」と言える地域づくりに頑張りたいと思います。



議会のニューフェイス

井上勲



コウノトリ

岩木地区の水田ほ場整備施工に伴い、やむ無く担い手農家になり、ほ場完成から6年、少子高齢化の中、次第に耕作地が増え、毎日忙しくしております。

整備の槌音も消え、ご支援をいただき、議落ち着きのある風景が戻って来たようです。いただいていることに、深く感謝申し上げます。



ウノトリが来ており、トラクターの一定の動きには恐れることも無く、約50メートルの距離で作業をしていても、逃げず、こちらの方は、ハラハラドキドキと感動を受けつつも、平静を保って作業を続けたものでした。

食の安全を考えるならば、コウノトリが来てくれる、共生できる地域づくりが必要だと、夢がふくらむところでもあります。

最後になりますが、この度は多くの方々の員としては未熟ながらも、一歩一歩、歩ませて

深く感謝申し上げます。

小野正昭



「菩薩の心を大切に」…

この度、議会だより編集委員会より議員紹介の依頼があり、先ず最初の文として、自分が何を大切にしなければいけないかと考えた時、議員として一人の人間として大切にしている事を、紹介して戴く事だと考えた次第です。

さて、この欄のタイトルは「議会のニューフェイス」とありますが、新人議員6名の中で私は、年齢はもとより議員経験（町議会）もあり、車で例えると新古車の部類に入り、慣らし運転をしなくても良い立場ではないかと思います。



併しながら、皆様方の指導・助言を守り当分の間は役所の機能、市議会の様子を静かに見聞させて戴こうと心掛けております。その中にあって大切な事は「中心線」を外してはならないと言う事であり、「基本線」を間違わない事だと思っています。

この4年間、ご推輓を賜りました皆様方のお心を心としてその期待に背く事無く「あらゆる人に愛される大衆性、柔軟な感覚、強靭な精神力」を基本理念と致し「菩薩の心」を忘れる事無く又、「中心線」を外す事無く、努力を致して参ります。

Citizen Voice

市民の放課後

バード・ゴルフの醍醐味

三瀬　末満

宇和ターゲットバードゴルフクラブの会員数は現在二十五名です。

今から約十五年前、宇和運動公園多目的グランド上のログハウス周囲が草場の荒地だった頃、会員でこつこつ整備をしました。宇都宮家一元宇和町長より、「お陰でログハウス周辺が綺麗になった。」と褒められた事を思いだします。残念な事は、正式なコースは十八ホールですが今は半分の九ホールです。それでも天気の日なら誰かは練習をしています。



ゴールのカゴ

毎年九月に「宇和文化の里大会」をしており、今年も県内は元より遠くは高松市、坂出市からも参加があり、盛大に大会が出来ました。三瓶と宇和の選手は技術面でも全国で上位にランクされており、全国スポレクでも数名が日本一のタイトルを獲得しました。

昨今、市の財政も厳しく文化スポーツにも予算カットの波が押寄せていますが、「生涯スポーツ」分には寛大にと願っています。

より多くの市民がターゲット・バード・ゴルフをはじめスポーツを愛好して頂く事が、豊かな人間性、体力向上・健康な体作りに役立つと信じています。



会員の練習風景“ナイスショット”

のど自慢クラブ

是澤　久

「NHKのど自慢」がきっかけ

西予市合併前の平成15年5月4日に、「NHKのど自慢」が宇和町へやってきました。その時出場した約40名で今でも年に何回か集まり、特老などの施設慰問や自分たちでカラオケを歌ったりという活動を続けています。メンバーには残念ながら本番に出場できなかった人もたくさんいます。これもひとつのNHKのど自慢の落とし物なのかもしれません。

のど自慢クラブのメンバー約8名くらいが年に数回、西予市内のお年寄りを慰問して歌を聴かせてあげています。初めの頃は、のど自慢のビデオなどを見てもらって、それからテレビでの歌を歌ったりもしました。施設の入所者の方は聞いて楽しむ方が多いようで、最後に唱歌「ふるさと」を一緒に合唱します。

施設訪問

施設慰問に参加できるメンバーによってもその日のメニューは大きく変わり、芸達者な出演者が慰問するとなるとその時は大いに盛り上がりました。

今後に向って

ずっと活動していくためには、メンバーの活性化と慰問先施設が必要です。私たちが訪問して歌えるところがありましたら、是非とも呼んでただきたいのです。のど自慢に関係ない方でも、施設慰問の主旨に賛同できる方は、どうぞご参加下さい。カラオケを通して社会貢献できること、それも「のど自慢クラブ」の役割だと思って、頑張っていきます。



のど自慢クラブの例会



93歳・現役シンガーの三好さん



合格の鐘の山本さん